

まちづくり交付金 フォローアップ報告書

神戸・河曲地区

平成25年2月

三重県鈴鹿市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4ー① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標			従前値	目標値	事後評価				フォローアップに よる確定値	計測時期	フォローアップ時 点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異があ る場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定 の別	目標達成度	1年以内の 達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	道路事情満足度	%	29.6	30.0	32.5	確定 見込み	○	あり なし	31	H24年7月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	都市の骨格となる道路整備事業などにより、交通利便性や安全性が向上し、市民の道路事情満足度の改善につながったと思われる。
指標2	交通事故件数	件／年	60	54	62	確定 見込み	×	あり なし	62	H24年7月	△	生活道路の安全性を高める為、道路整備を進めたが、指標(交通事故件数)減少効果に直結しなかった。今後も危険個所の整備及び交通安全教育等の啓発を推進する必要がある。	☒ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	道路整備事業により、安全な生活道路の整備を行ってきたが、計測時において指標改善の効果発現されず、目標達成に至らなかった。今後も危険個所の整備及び交通安全教育等の啓発を推進する必要がある。
指標3	イベント参加延べ人数	人／年	1,200	1,800	計測不能	確定 見込み	-	あり なし	-	H 年 月	-		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	平成16年度当時は個別イベントとして開催していたが、H20年移行は寝釈迦祭り等の他の大きなイベントとの同時開催となり、当初と比較可能な計測が困難となったが、その他の指標にて一定の効果を確認できた。
指標4	市民の安心安全度	%	41.4	45.0	43.0	確定 見込み	△	あり なし	51	H24年7月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	防災拠点である新庁舎周辺の整備や緊急避難所の耐震補強、ソーラー公園灯の設置など防災対策や道路整備を推進した結果、市民の安心安全度の改善につながったと思われる。
指標5						確定 見込み		あり なし		H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4ー② その他の数値指標の確定

指 標			従前値	目標値	事後評価				フォローアップに よる確定値	計測時期	フォローアップ時 点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異があ る場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の 達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の 数値指標1	神戸・河曲地区の道路事情満足度	5段階評価	3.00		4.47	確定 見込み			4.37	H24年7月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	地域住民が生活する上で利用頻度が高い道路や関連事業の電線類地中化などを整備したことにより、交通利便性や安全性が向上し、道路事情満足度の一定の評価があったと思われる。
その他の 数値指標2	神戸・河曲地区住民の安心・安全度	5段階評価	3.00		4.17	確定 見込み			3.99	H24年7月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	緊急避難所の耐震補強やソーラー式公園灯の設置、公共施設AED設置事業などにより、地域住民の安心安全度に一定の評価があったと思われる。
その他の 数値指標3	神戸・河曲地区住民の市民文化・市民交流の拠点づくりに関する満足度	5段階評価	3.00		4.2	確定 見込み			4.01	H24年7月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	ジェフリーすずか駐車場の整備により、ジェフリーすずかを使用して行う男女共同参画社会に向けてのイベントや地元商店街、地域住民によるイベントを開催しやすくなったことが評価の要因の一つと思われる。

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4－③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5－③に記載した 今後のまちづくり方策（事項）		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	居住環境の利便性・快適性、安全性の維持向上	・市管理の公園について長寿命化計画を策定した。 ・市役所、河曲地区市民センター、神戸及び河曲小学校、神戸中学校等にデジタル防災行政無線を設置。	・公園内施設について修繕・更新の時期及びその費用を把握することで、計画的な修繕等が可能となり、より安全な公園管理が可能となった。 ・災害から市民の生命・財産の保護を図るため、災害発生時における的確・迅速な情報伝達を行うとともに、平常時において行政広報の確実な伝達や使用方法の訓練を行う。	・公園内施設についての修繕等に必要な予算を確保し、計画の実施に努める。 ・防災行政無線電波の受信が不安定な地域の解消は、防災情報の迅速な伝達を図る観点から極めて重要である。
	市民間交流の促進	・神戸城を含む神戸公園の園路整備及び健康遊具設置。 ・男女共同参画を推進するため市民参加による実行委員会形式のイベントや市民委託による講演会・講座を実施するとともに、市民団体等にホール、研修室、調理室等を安価に提供し、交流スペース、子供部屋は無料で提供した。	・園路整備にて神戸城へのアクセスがより安全となった。健康遊具の設置により、高齢者等の公園利用が活発となった。また、健康面での向上も期待できる。 ・ホール、研修室、こども部屋等の年間平均利用者数は、約28000人でたくさんの市民の方に利用していただいている。	・市民からの要望等を考慮し、より魅力のある公園として維持管理に努める。 ・施設の維持管理にたくさんの費用がかかる。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	交通安全教育等の啓発活動の実施	・子供や高齢者等を対象に交通安全教室を開催。 ・その他交通安全啓発活動を実施。	・交通安全教室開催状況（H23.4～H24.9） 小学校等27回、老人会4回82名 ・その他啓発活動状況（同上） 交通安全決起集会、合同出発式 2回 飲酒運転防止キャンペーン4回	・高齢者の交通字が多いため、地区集会等で啓発活動を更に拡充する必要がある。 ・民間事業所との協力による交通安全啓発の展開を図る。

事後評価シート 添付様式5－③から転記

様式4－④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項